＊子育てのワンポイント

トイレトレーニング、どうしたらいいの？

トイレトレーニングは、個人差が大きいものです。引っ越しや入園、下の子が生まれた、あるいは親が転職したなど、子どもにとっての環境が変化した時期に合わせて始めるのは最適な時期とはいえません。コミュニケーションがしっかりとれるようになった、おしっこがたっぷりまとまって出るようになった、親にゆとりがあり、いつ頃おしっこが出るかわかるようになった、という時期を選ぶといいでしょう。「座り込んでモジモジする」「おちんちんを両手で押さえる」という姿は、排泄をしたい気持ちの表れなので始める機会が来ているかもしれませんね。褒めるとすぐその気になる１歳前半と、話せばわかる２歳半過ぎがやりやすいようです。１歳後半～２歳前半のイヤイヤの時期は２倍褒めて工夫してみましょう。

トイレの時間、あれこれ！

1．オムツを替えることに子どもが関われるように、大人の援助のもとオムツに足を通したり引き上げたりしてみましょう。またズボンの脱ぎ着なども一緒に経験しましょう。

2．オムツを交換するとき、濡れていることや中のおしっこやうんちについて話します。「くさーい」「まだなの？」「ばっちい」などの言葉は、おしっこ、うんち＝嫌なことと思ってしまいます。「おしっこやうんちが出てよかったね♪」「きもちよかったね」「すっきりしたね！」など、おしっこ、うんち＝いいことと思えるような言葉で声をかけてあげましょう。

3．オムツをトイレに置き、そこでオムツ交換するとおしっこやうんちがトイレと関連づけられます。

◎おまるや便座での排泄に関する絵本を一緒に読み聞かせしましょう。
◎トイレのドアを開けて、お父さんお母さんの様子を見せてあげましょう。子どもは見て真似て学びます。
◎おまるや便座に座って幸せでリラックスした気持ちになれるよう、小さなことでも褒めてあげましょう。
◎足がぶらぶらしていると不安になったり力が入らなかったりすることもあるので、足が踏ん張れる足置き台を使うといい場合もあります。（牛乳パックなどで手作りしてみるのもいいですね）

失敗しながら何度も繰り返して、できるようになります。
始めからうまくできなくてあたりまえ。長い目で見守ってあげましょう。

「子育て支援陽だまり通信」高山静子著　／ちいさいなかま 2021・６月号「子どもの権利から排泄の自立を考える」武内一　参照

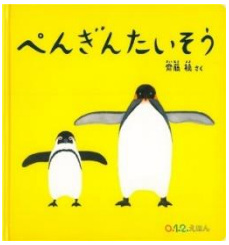
今月の絵本

ぺんぎんたいそう

さいとうまき／作・絵　　福音館

こぐまちゃんのみずあそび

わかやまけん／作・絵　こぐま社



今月のうた

＜みずあそび＞
みずをたくさんくんできて
水でっぽうで遊びましょう
いち　に　さん　し
シュッシュッシュッ

今月のわらべうた

いっすんぼうし
こちょぐちょ
たたいて　さすって
つまんで　おわり

８月の予定

５日（木）手作りおもちゃ
（まるはちの日）

今年度、プール開放はありません。
※随時水遊びができるコーナーを設ける予定です。